

(様式2)

確認書

兵庫県信用保証協会 御中

令和 年 月 日

金融機関本・支店名.....
代表者名.....
電話番号..... (.....)
担当者名.....

当.....は、申込人.....殿が策定した廃業計画書は妥当性のある計画であると判断しており、本計画をふまえて廃業支援を行うことを確約します。
また、以下のとおり、実質的に資産超過であることを確認しています。

1. 貸借対照表（直近決算）

(令和 年 月期)

(単位：千円)

資産の部	決算	修正	実質	負債・純資産の部	決算	修正	実質
流動資産				流動負債			
現金・預金				支払手形			
受取手形				買掛金			
売掛金				短期借入金			
商品・製品				未払金			
仕掛品・原材料				その他			
短期貸付金				固定負債			
その他				社債			
固定資産				長期借入金			
有形固定資産				その他			
建物・構築物				負債合計			
機械装置				株主資本			
車両運搬具				資本金			
土地				その他			
その他				純資産合計			
無形固定資産							
投資その他の資産							
投資有価証券							
関係会社株式							
長期貸付金							
その他							
資産合計				負債・純資産合計			

- (※1) 網かけ部分及び修正があった科目のみ記入。また、既に金融機関で作成された資料等が別にある場合は記入を省略し、別紙として同資料を添付することも可能。
(※2) 代表者や役員・親族等からの借入金について、返済を求められないことにより借入金の減額修正を行なう場合、可能な限りその内容が記された書面を確認し、同書面を添付すること。なお、書面による確認は困難であるが、返済を求められないことを役員・親族等から確認できる場合は、確認した内容等を「2. 修正科目についてのコメント」欄に記載すること。

(裏面あり)

2. 修正科目についてのコメント

--

3. 廃業計画に対する所見

--

(以上)